

# めひの野園



〒930-0143  
富山県富山市西金屋6682番地  
社会福祉法人めひの野園  
TEL.076-436-0270  
発行責任者 中田 匠  
(表題書)  
高岡市中川上町3の31  
(故)杜甫 萩水先生



## めひの野園設立30周年記念式典は、やはり凄かつた！

(30周年準備委員会委員長 岡部茂之)

梅雨の合間とは思えぬほど的好天に恵まれた6月30日、富山国際会議場大手町フォーラムにおいて、めひの野園設立30周年記念式ならびにうさか寮大規模修繕工事完工式が執り行われました。オープニングとして「めひの野園喜楽太鼓」が演奏を始める、会場のボルテージは一気に高まり、続く島根県の「石見神樂」はまさに圧巻という言葉がふさわしい公演で、舞台裏で見ていた司会者とともに「これは凄い！」と絶句したほどでした。また、これほどの興行を富山に招いてしまっためひの野園もこれまで「凄い！」ということになるのでしよう。

神楽の興奮醒めやらぬなか、いよいよ記念式典の開式がフリーアナウンサーの廣川奈美子さんによつて宣言されました。冒頭、中田勉理事長がいつもの口調で、「ハイ、みなさん、こんにちは！」と来場者に話しかけるように挨拶を始められると、心なしか会場の雰囲気が柔らかくなつたように感じました。開園当時の様子を訥々と話される理事長の姿に、「いつの間にか好々爺になられて…」と目頭をハンカチで抑える方も見受けられました。この後、来賓の方々の祝辞を頂戴し、感謝状の贈呈、永年勤続職員表彰と続きます。

そして、ついにその時はやつてきました。明らかに場違いと思われる軽快な音楽に乗つて、めひの野園マスコットキャラクター「めひロー」と「めひな」の着ぐるみが登場です！「で、でかいっ！」「かわいい！」——見る人によつて反応は様々でしたが、圧倒的なインパクトを与えたことは間違ひありません。それにしても、これほどの着ぐるみを作つてしまつとは（しかも、2体！）やはり、めひの野園は凄いです。

着ぐるみ紹介に続いて、新ロゴマークのお披露目が行われ、デザインの由来、イメージについて説明がなされました。今後、園の製品や看板等でもお目にかかることでしょう。

いよいよ式典も終盤。次は職員による園歌の斎唱です。この日のために何度も練習を重ねての晴れ舞台。果たして皆さんのお耳にはどのように響きましたか。

そして、トリを務めたのは中田匡園長でした。30年間という歳月中で様々な困難を乗り越え、親子二代でここまでやつて来られたという万感の思いが溢れたのでしよう。時々言葉に詰まりながらも、これから園が歩むべき道をしつかりと示されました。では、今後もめひの野園が繰り出す「凄いこと」にどうぞご期待ください。

## 特集

# めひの野園30周年記念式 うさか寮大規模修繕工事完工記念式



式典会場の富山国際会議場大手町フォーラムには、多くの方が足を運んでくださいり、設立30年という節目の式典が盛大に催されました。

6月30日、めひの野園30周年記念式・うさか寮大規模修繕工事完工記念式が開催されました。会場は富山国際会議場大手町フォーラム。600人規模の大きなメインホールには、来賓の方々を始め、当園ゆかりの方が多く来場され、設立30年という節目の式典が盛大に催されました。

記念式は3部構成で催され、ます 第1部は、オープニングとして当園の和太鼓サークル「喜楽太鼓」の演奏、特別公演「石見神樂」が披露されました。次に第2部の記念式典が行われ、午後からは第3部の懇親会と、充実した内容となりました。

また、式典を開催するにあたって、30年という歴史をまとめた記念誌の制作や、記念DVDの作成、新マスクットキャラクターの披露、新ロゴマークの制作といった、様々な企画が盛り込まれました。



司会の廣川アナウンサーのインタビューに答える奥村支援員。「これまで続けてきたサークルの名を汚さぬよう、練習に励んできました。」練習の成果が表れた演奏でした！



オープニング 第1部  
今回、記念式の司会をしていただいたのはフリーアナウンサーの廣川奈美子さん。テレビやラジオでお馴染みの声で式が進行されました。オープニングを飾ったのは、めひの野園の和太鼓サークル「喜楽太鼓」の演奏。これまでめひの野園の様々な行事で演奏を重ねてきた喜楽太鼓ですが、30年という節目の式典でこれまでの集大成ともいえる、堂々の演奏でした。

## オープニング

記念式次第  
第1部

- めひの野園喜楽太鼓
- 特別公演
- 石見神樂「大蛇(おろち)」

## 第2部

- 開式のことば
- 理事長挨拶
- 来賓祝辞
- 祝電披露
- 感謝状贈呈
- 職員表彰
- 新マスコットキャラクター & 新ロゴマーク披露
- 園歌齐唱
- 園長挨拶
- 閉式のことば

## 第3部

- 謝 辞
- 乾 杯
- スピーチ
- 万 歳

## 『特別公演』石見神楽「大蛇」

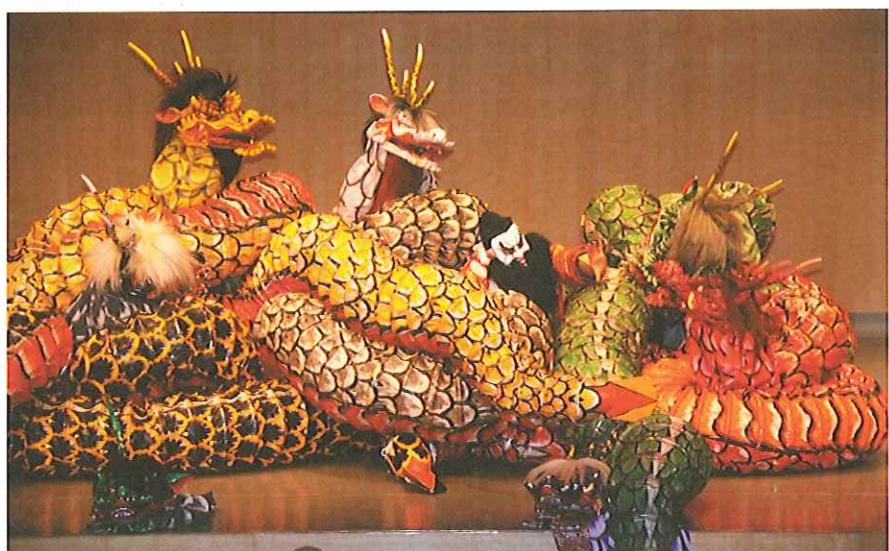
喜楽太鼓の演奏に引き続き、特別公演として石見神楽「大蛇(おろち)」が披露されました。

石見神楽は島根県石見地方が誇る郷土芸能で、今回公演していただいた「いわみ福祉会芸能クラブ」は1985年に結成され、神社での奉納や催しなど、様々な場で演じられる他、全国各地の福祉施設、さらには中国やオーストラリア、ハイイなど、海外でも公演されています。

今回は、めひの野園の30周年記念式での公演のために、12時間以上の長旅ではるばる富山にお越しいただきました。



本当に生きているかのようにステージ上をうねる「大蛇」



大迫力！特別公演の石見神楽「大蛇」



めひの野園を代表して、やねのうえのガチョウ利用者の秋山莉紗さんから、いわみ福祉会の皆さんへ花束が贈られました。

「島根県から来ていただき、ありがとうございました。大蛇はとっても大きかったです。」と秋山さん。

### いわみかぐら 特別公演「石見神楽」について

もともと神職による神事であったものが、明治初期から土地の人々のものになり、民俗芸能として上演されるようになりました。今回の特別公演では、30種類に上る演目の中から、スケールの大きさとダイナミックな動きで絶賛を得ている「大蛇」が上演されました。

やまとのおろち いなだひめ すさのおのみこと  
八岐大蛇から稻田姫を助けるため、須佐之男命が大蛇を退治するというあらすじの「大蛇」はまさに大迫力の演舞。石見地方では、収穫の秋になると、お祝いのお祭りで盛大に舞われるそうです。

今年は古事記編纂1300年にあたる年で、島根県では県下あげてのイベントが催されるそうです。皆さんも一度足を運ばれてはいかがですか？

## 式典 第2部



会場全体に話しかけるような中田勉理事長の挨拶

「30年前がつい先日のよう。」と始まつた中田勉理事長の挨拶。「建物はどうでもいい。とにかく利用者の働ける場を作ろう。障がいのある人でも給料をもらって、税金を納めるくらいにしてやりたい。」という思いを肝に命じてこれまでやつてきた。いろいろと大変なこともあつたが、今では、しいたけの生産や、パン作り、鶏など、収益が上がる仕事もできるようになつてきた。全国でもここまで利用者に給料を払える施設はそれほどないのではないか。これからも実績を積んで、利用者の仕事の場を増やしていきたい。」と、これまでの30年を振り返るとともに、これまで園を支えてくださった方々への感謝の思いを述べられました。

石見神楽の公演に引き続き、いよいよ記念式典が始まりました。

「30年前がつい先日のよう。」と始まつた中田勉理事長の挨拶。「建物はどうでもいい。とにかく利用者の働ける場を作ろう。障がいのある人でも給料をもらって、税金を納めるくらいにしてやりたい。」という思いを肝に命じてこれまでやつてきた。いろいろと大変なこともあつたが、今では、しいたけの生産や、パン作り、鶏など、収益が上がる仕事もできるようになつてきた。全国でもここまで利用者に給料を払える施設はそれほどないのではないか。これからも実績を積んで、利用者の仕事の場を増やしていきたい。」と、これまでの30年を振り返るとともに、これまで園を支えてくださった方々への感謝の思いを述べられました。

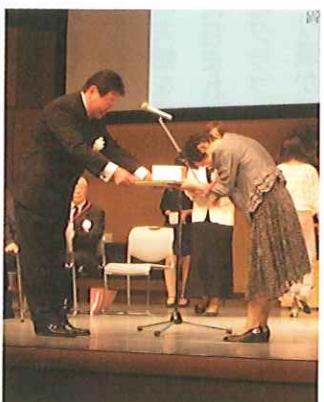


森富山市長からはエールが込められた祝辞をいただきました。

会場全体に話しかけるような中田勉理事長の挨拶

以前、めひの野園の後援会会長を務められたこともある森雅志市長は祝辞の中で、「障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる社会を作る。まさにノーマライゼイション社会を構築するため、今後も施策を推進していく。めひの野園の特徴は、地域の皆様から深い理解とご縁があること。様々な立場の方から支えられており、ノーマライゼイション社会の実現である。」との言葉をいただきました。

引き続き記念式典では、祝電披露が行われ、次に、お世話をなつた業者、協力団体・個人への感謝状贈呈、永年勤続職員表彰が行われました。



中田匡園長から表彰状が手渡されました

会場に明るい音楽が流れ、始まったのが、めひの野園の新マスコットキャラクターの披露です。10年前に、「人々に福をもたらす」と言われるフクロウをモチーフに、人々に幸福が訪れるようにとの思いを込めて、「めひロー」というキャラクターが作られました。

今回、30周年を記念し、めひローのガールフレンドとして、「めひな」というキャラクターが誕生し、その着ぐるみも製作されました。

室内支援員が、2体の紹介をし、それに合わせてキャラクター達が可愛らしい仕草を見せると、会場からは笑い声が上がり、和やかな雰囲気の中、キャラクター披露が行われました。



マスコットキャラクターの、めひロー君(右)と、めひなちゃん(左)をよろしく！



新ロゴマークの披露が行われました



この日のために練習してきためひの野園職員による園歌斎唱



式典を締めくくった中田匡園長の挨拶

新マスコットキャラクター披露と共に発表されたのが、新ロゴマーク。保護者や職員へのアンケートを基にデザインされました。マスコットキャラクター、ロゴマーク共に、これからめひの野園で行われる様々なイベントや商品の中で皆様の目に触れることも多いのではないでしょうか。これから活躍が期待されます。

そして、ステージ下に並び始めたのは、めひの野園職員から選抜された「めひの野園混声合唱団」。そして始まったのは「園歌斎唱」。仕事が終わってからの時間や、昼休みを利用して練習してきました。その甲斐があり、日ごろのチームワークの良さが表れた歌声が会場に響きました。

「まつしろな梨の花」の歌い出して始まる園歌。「手をつなぐ明日にめぐみ深く、愛さながらに幸せ結ぶ」という歌詞のように、皆の幸せな未来を願いながら、これからも様々な行事で歌い継がれていくことでしょう。

式典の最後を締めくくったのは、中田匡園長の挨拶です。「昭和56年当時、今の春の苑が建っている場所には梨畑があり、その土地を理事長と2人で片付け、プレハブを建てるところから始まり、障がいのある方の働く場、生活の場を整備してきました。」これまで振り返り、「うさか寮の大規模修繕工事が完了することで、ハード面の整備は整いました。これからはソフト面を充実させ、障がいを持つた方が、地域の中で共生できるようになることを目指していきたい。」と、今後の指標を示され、記念式典は無事に閉幕しました。

第3部  
懇親会

午後からは会場を国際会議場2階に移し、懇親会が開かれました。司会は当園の岡部事務長。園関係者、保護者の皆様等、多くの方が参加されました。

最初に竹本潔史保護者会会長が、「最初はプレハブ一つでしたが、新しい作業場を建てられていく中、今まで色々な協力団体からの援助があつた。諸先輩方の努力に改めて感謝したい。これからも障がいのある人にとってすばらしい施設になるように、保護者会、園長、職員の方々と一体となれるよう、全身全霊で協力していきたい。」と謝辞を述べられました。



竹本保護者会会長の謝辞



盛りだくさんの料理を囲んでの懇親会

会場には盛りだくさんの料理や飲み物が用意され、理事長、園長を囲んで30年という歴史を振り返り、昔を懐かしむ声も聞かれました。  
懇親会の中では、村家博市議会議員、谷井晃富山県知的障害者福祉協会会長、中島眞市富山県社会就労センター協議会副会長、村井宗明衆議院議員からスピーチをいただき、終始和やかな雰囲気での懇親会となりました。



参加された皆様と親睦を深めることができました。



式典終了後、理事長、園長を中心に、マスコットキャラクターの「めひロー」「めひな」と一緒に。

めひの野園設立30周年を迎えるにあたり、日頃の「ご支援への感謝の気持ちが伝わればとの思いから、式典にはたくさんの企画が盛り込まれました。その企画に携わった職員の声をお届けしたいと思います。



記念誌や記念品、DVD等が入った引き出物が、式典に来場されたお客様に手渡されました。

アルバム帳を何十冊も引っ張り出してきて、各事業所の編集委員がそれらに目を通しました。

「うーん、これ誰?」、「えーつ、〇〇さん、若い!」といった会話のオンパレードで、写真の選定作業は大盛り上がりました。

考えてみれば、設立当時のことを探る職員も随分と少なくなり、編集委員が改めて園の歴史を学ぶといった感じもありました。

また、日頃からめひの野園を応援してくださっている地域の皆さんや数多くの協力会社の方々、元職員からの声も掲載することができました。メッセージをお寄せいただいた皆様、本当にありがとうございました!

では、めひの野園の大切なものが詰め込まれた「珠玉の一冊」をどうぞご覧ください。

(30周年準備委員会 記念誌担当)

事務長 岡部 茂之(



園の歴史が凝縮された記念誌

### 記念品製作を終えて

設立30周年記念式典が無事に終了し、めひの野園には再び平穏が訪れます。

最近、自分でも「笑顔が戻ってきたな」と感じることも多くなりました。言うまでもなく、式典が無事に終わり、記念品製作という重圧から開放されたからです。会議のたびに園長からは、

「記念品ができなかつたら、岡崎君は丸刈りですよ。」と言われていましたが、ついに丸刈りは免れたのです。しかし、もし本当に失敗していたら、自分が頭を丸めるだけで済まされる話

ではなかつたので、「あれは園長の優しさの一つだったのだな。」と思えるだけの余裕も、最近になつて出てきました。

そんな30周年の記念品ですが、めひの野園で主に手工芸品の制作を行っている事業所「みしまの工房」での作業の集大成として、「漆塗り萬箱」と、「和紙貼り時計」を制作し、式典に来られた来賓の方々にお配りしました。読んで字のごとく、漆・工芸班で漆を塗った箱を、はたおり班で織られた布で飾り付けた小箱と、和紙班の牛乳パック再生和紙に利用者の絵画作品をデ

ザインし、漆を塗った木地に貼り付けた時計です。どちらも、みしまの工房の特色が存分に表れた品になったのではないかと思っています。

今回の記念品制作で感じたことは、日ごろ利用者さんと接していると、つい彼らの苦手な部分や、問題とされる行動に目が行きがちですが、そうではなく、彼らの好きなこと、できることが目を向けて、それを仕事に結び付けていくことが大切だということです。

このことを心に刻み込み、今度は40年に向けて:いやいや、今からそんなことを考えると気が重くなるので、今は一仕事終えた充足感を感じていたいと思います。

(30周年準備委員会 記念品担当)

みしまの工房 岡崎 秀徳(



よろずばこ  
「漆塗り萬箱」(上)と  
「和紙貼り時計」(左)



1982年6月の法人設立以来、毎年のように施設整備や設備整備を行い、常に利用者の「働く場」や「生活の場」を充実させてきためひの野園。その30年の歩みを1冊の記念誌に凝縮するという作業の大変さは並大抵のものではありませんでした。

今回の記念誌では、なるべく多くの写真を掲載しようということで、古い

## 新マスコットキャラクターを よろしくお願ひします！

平成10年にめひの野園のキャラクターとして、フクロウをイメージした「めひロー」が誕生しました。フクロウは昔から福をもたらす鳥という言い伝えがあり、すべての人が幸福になつてほしいと願いを込めて、キャラクターに取り入れられました。そして、大胆で特徴的なデザインで知られるめひローは、めひの野園の建物やトラック、職員の制服、商品の包装紙や袋に登場して「めひの」ブランドを支え続けてきました。

今回、設立30周年記念企画の一つとして、新しいキャラクターの「めひな」が誕生し、「めひロー」、「めひな」の着ぐみを制作しました。この着ぐみが出来上がるまでに、デザイナーや制作会社には、着ぐみの色や耳の位置、顔の大きさ、丸みなど、数多くの細かい調整を行つてもらいました。そのたびに驚いたのが、目の色一つ、唇の大きさ一つといった細部にまで一切妥協しない徹底したことわりを貫くデザイナー、制作に携わる人の熱い思いでした。

そんな熱い思いが詰まった「めひロー」「めひな」は、6月30日の記念式で披露されたのですが、そこで感じたことは、キャラクターの着ぐみには人



記念式典でお披露目されました。「これからよろしくお願ひします！」

今後は、めひの野園の夏祭りや、りんどう祭などの行事、販売イベントなどにも登場する予定なので、応援よろしくお願ひします。  
(30周年準備委員会 マスコットキャラクター担当)

作業センターふじなみ主幹 室 賢二

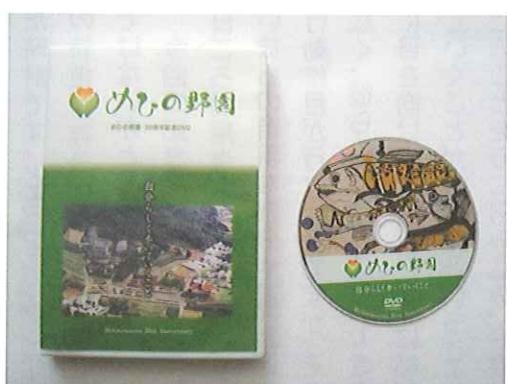


式典会場で記念撮影会。早くも人気者に！

## めひの野園紹介DVD「自分らしく歩いていくこと」が出来ました

めひの野園は、自閉症の人たちが、地域の中で多くの人の助けを借りながらも、自分らしく自立した生活ができるよう援助したり、地域社会に働きかけて、より多くの人たちに、自閉症の人たちの理解と支援の輪が広がるように取り組んできました。

このDVDでは、設立当初からこれまで、めひの野園の果たしてきた役割、そしてありのままの今の姿、さらには未来に向けての願いや想いをドキュメンタリー形式で紹介しています。



めひの野園の取り組みを紹介するDVDができました。

(30周年準備委員会 DVD担当)  
うさか寮施設長 東 真盛

エー・ピーさん、アイ・カンパニーさんのおかげで、ステキなDVDに仕上がりました。  
何よりも印象的だったのは、打ち合わせも何もないインタビューで見せた、利用者さんのステキな笑顔と自信あふれる目の輝きでした。それぞの特性に合わせた環境を提供するだけではなく、「本物」の商品作りを提供していくことのすばらしさを、この制作を通じて再認識することができました。これまでの30年を30分の映像に落とし込むことが出来るはずもなく、少し心残りもありますが、園にお越しの際は、ぜひご覧いただき、ご意見ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

これから制作まで約一年。株式会社シード感ある活動を紹介したい。企画



とつしおきのNEWS満載のコーナー

## やぶなみ

思い出に残った  
白馬への日帰り旅行



ロープウェイからの見晴らしは最高でした!



キーholderの出来栄えはいかが?

6月1日(金)、長野県白馬村へ日帰り旅行へ行つてきました。

ロープウェイに乗つて空中散歩を体験しました。木のキーholder作りを体験し、思い出に残るお土産にもなりました。

また、信州牛のすき焼きをお腹いっぱい食べ、大満足の旅行となりました。

## やねのうえの ガチョウ

大阪への1泊旅行  
「楽しい体験がたくさんできたよー」

7月13日(金)・14日(土)に、大阪へ1泊旅行へ行つてきました。

初日は、カップヌードル作りを体験!自分だけの一品ということで思い出に残る体験になりました。

夜の宴会では旅館横の道頓堀を下る屋形船を偶然に見ることができ、夏の風情も感じることが出来ました。

2日目は海遊館で大きなジンベイザメに大興奮でした!



とつしおきのNEWS満載のコーナー  
おまき・めひの

# しいたけくん

第26回 4年に1度のいそかしさ…!の巻



(描・おかちん)

# ふじなみ

## 自分達で作ったカレーは最高! 平湯山の家での合宿

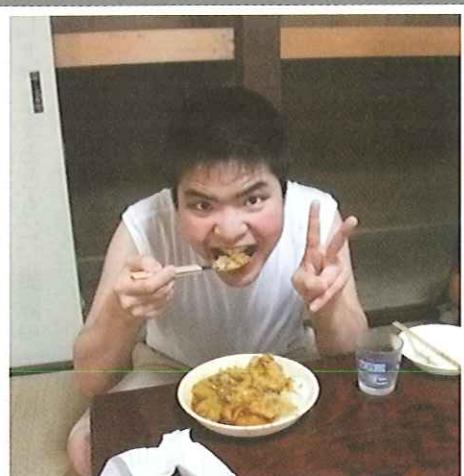
7月15日(日)・16日(月)の1泊2日で平湯合宿に行つきました。

今回の参加者は利用者も職員も男性ばかりだったため、山の家の夕食は慣れない手つきでカレーライスとやぶなみ産の飛騨地鶏を調理しましたが、これがまた凄くおいしく出来ました。

露天風呂や花火も楽しみ、たくさん思い出をつくりてきました。

て大好評でした。

露天風呂や花火も楽しみ、たくさん思い出をつくりてきました。



手作りのカレーに思わずニッコリ!



飛騨地鶏もおいしく料理しました!



生きくらげ……150円  
乾燥くらげ……300円

ターサーふじなみで、きくらげを栽培しています。  
昨年度から、作業センターやふじなみで、きくらげを栽培しています。  
期期間定ですでので、この機会にぜひ、ふじなみの生きくらげを食卓にいかがでしょうか。



赤い羽根共同募金の助成  
によりウオリム・フリク

平成二十四年度共同募金助成事業として、富山県共同募金会から助成金をいただき、中温冷凍車を整備しました。このことにより、夏場でも鮮度を落とさず安心して、飛騨地鶏を運搬・販売することができるようになりました。

ここに事業完了の報告を申し上げますとともに、感謝の意を表します。

できるようになりました。

一、総事業費  
一一〇二万八一七〇円  
記  
一、助成金額  
一四〇万円

射水市 富山市  
射水市 富山市  
下新川郡 研波市 射水市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市  
富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市  
石川県金沢市 滑川市 南砺市 高岡市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市 富山市  
めひの野園後援会 後援会振込口座番号 140 ガラスメンテナンスサービス西村務

(H 24.4.24)	(H 24.7.18)
北日本印刷(株)	敬称略
飛驒市農林部	紙谷 政成
富山大学 泉原 利匡・古川	新田 淳美 尚孝
富山市福祉保健部障害福祉課	林 秀二
(株)富山アメニティシステム	温井 信之
高岡市福祉保健部社会福祉課	伏黒 順太
(福)富山県社会福祉協議会	浦野 陽子
日本ハム東販壳(株)	宮崎 博嗣
富山市呉羽地区自治振興会	田川 光雄
中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸(株)	長井 静男
中日本高速道路(株)	伊藤 康樹・石崎 博
松本豊和・堀江悟・楠本正彦	金沢支社
(株)中曾根造園	水畑 光男
富山県職員研修所	中曾根勝人
(福)にいかわ苑	佐藤 彰子
(福)陽光福祉会	杉谷 輝夫
富山大学人間発達科学部附属特別支援学校	増岡 伸二
富山県立高岡支援学校	栗林 瞳美
北陸電力(株)研修センター	西田 祐伸
(福)新川会 坪野 恭久・木下 黒田	田中 雅人
富山テレビ事業(株) 西井 仁・田畑 一美	義彦
日本海建興(株)	萩原 効
(福)舟橋村社会福祉協議会	竹内 久義
キヤノンシステムアンドサポート(株)	田中 浩二
新日本コンサルタント	山 加代子
城岸 巧	津村 隆二
新エコデザイン認証センター	室井 好文
富山福祉短期大学 富山福祉短期大学	高志
専業脳外傷友の会	あいおいニッセイ同和損害保険(株)

6月30日に行われた当法人「設立30周年記念式」「うさか寮大規模修繕工事完工式」には、大勢の方々にお祝い頂き、盛会のうちに終えることができました。本当にありがとうございました。

式典の当日お披露目した、当園のマスコットキャラクター「めひロー」と「めひな」について少し紹介します。

「めひロー」君たちは、ご存知の通りフクロウをモチーフにデザインされています。フクロウは古から様々な言い伝えがあり、ギリシャ神話では、知恵の神、アテネ女神の従者とされています。また、日本では、福来郎<sup>ハナシロ</sup>＝福が来る鳥、夜目が利き、夜に活動することから「見通しが明るい」と言われたり、首が360度回ることから、開運、招福、お金に困らない「商売繁盛」の鳥とも言われています。

余談ですが、フクロウには、頭部に突き出した耳のように見える羽角<sup>ヒナカク</sup>はありません。羽角のある種は、ミミズクと呼んでいます。「めひロー」と「めひな」には羽角がないのですが、みんなに愛されるめひのマスコットキャラクターとして、可愛がってやってください。

一人ひとりの障がい者に、幸福を呼び込んでほしいと念じて作ったのですから。

-こもれ陽を見つめ、山を歩く子ら-